



## その1・カヤックフィッシングへの道 鉄板・富津のシーバス・レポ



**バム・おごそかに始動**

我々はカヤックフィッシング・アングラーの養成を目的に活動する特殊部隊である。コードネーム・バム。一人でも多くのアングラーにバドルを握らせることを主要な任務としている。500海里の道もひと漕ぎから。レイファーストが世の習いであることを考慮すれば、当作業も、女性ターゲットから展開すべきである点、異論の余地はない。そんなわけで、手始めに対女性アングラー工作から取りかかろう。最高機密会議で決定された。

なお当作業については、一部で、私の個人的趣味によるものではないかとの憶測があり、最高機密会議が「編集長出て来い」との猛烈な抗議を受けたとも言われているが、これらは全くの誤解である。これをここに言明しておく。本当である。断じてスケベ根性ではない。いわゆる「マジ」というやつだ。信じて欲しい。これほどの話を信じないとは、どうかしているぞ、諸君。

**ターゲットとの接触**

根も葉もない無責任な噂バナシはさておき、バム一味が始めに狙いを絞った女性アングラーは「まあほう」と松本昌子嬢である。隣には「ほによちゃん」を名乗る随伴者の姿があった。

(危険だ：危険すぎる)

天性のカンが働いた。根拠はない。いわゆるスナイパー、もといバドラーのカンである。

一行が富津岬に集結したのは、梅雨明けも近い七月上旬のマルヨンマルマル時(午前四時)。ルアーでシーバスを狙う。白昼の強行作戦となるが、カヤックなら十分に確保可能であろう。

が、初めてのターゲットをいきなりカヤックに乗せるのには無理がある。相応に段階を踏む必要がある。もっとも、バドリング(漕ぎ力)の基礎と安全講習をするだけである。カヤックは老若男女、だれに対しても敷居が低いのだ。これについては、富津でたびたび試乗会を催している地元釣具店「FUN」の中世氏にお任せした。

教え方が上手なのもあって、見る間にバドリングがスムーズになっいていくターゲット。まあほうとほによちゃん。すぐにバドリング講習は終了、富津周辺でカヤックに乗る際の留意点に話が及ぶ。大げさなようだが、岬の先端周辺では潮流が急に激しくなることがある。フィッシング・カヤックの艇速では太刀打ちできないケースも見られ、注意が必要だ。

通信販売・分割ローン・試乗・置場 お気軽におたずね下さい。

ツーリングタイプ



ステラ S16 (FRP)  
軽さ・速さ・安定性のバランスの取れたシーカヤックです。  
495cm×56.2cm 20.7kg 特価260,400円

折畳式ツーリングタイプ



ノーティレイ ナラック  
ノーティレイ社の本格的なシーカヤック誕生。スピードの伸びと切れのある操作性を合わせたカヤック。  
550cm×52cm 14kg 338,100円



※この広告は2013年2月末まで。  
なお、売り切れの際はご了承ください。



フィッシングタイプ



ハリケーンカヤックス フェニックス120 アングラー  
新素材トライロンを使用。非常に軽いカヤックです。  
344cm×71.1cm 18.1kg 148,000円

フィッシングタイプ



ハリケーンカヤックス フェニックス130 アングラー  
新素材トライロンを使用。軽く美しく速いカヤックです。  
399cm×71.1cm 23.6kg 168,000円

**SOUTH WIND**  
http://www.swss.jp/

カヤックショップ  
サウスウインド  
TEL 045-222-1322

〒231-0002 横浜市中区海岸通4-23  
AM10:00~PM7:00・水曜定休  
みなとみらい線 馬車道駅 徒歩3分

# KAYAK FISHING PORTAL SITE & GEAR SHOP

カヤックフィッシングの  
ポータルサイト&WEBショップ



**kayak55.com**  
http://www.kayak55.com/



**kayak55.com** 〒272-0811 千葉県市川市北方町 4-2094 ウエルズ北方パート1  
**実店舗** 営業時間: 16:00~21:00 email: info@kayak55.com  
定休日: 月曜・木曜 **TEL: 047-711-7640**

海ちゃん海をゆく!



# チャリ・カヤでゆく 海岸線の旅

～ チャレンジ千葉島一周!? 房総激漕編 ～



海ちゃん



**海ちゃん Profile**  
療養と称してカヌーに乗り、旅をし、釣りをする社会不適合者。ユーコン河3,000km、マッケンジー河1,800km、テスリン川、コバック川、知床半島などを単独漕破する。極北の自然を愛する。



**アタリに見放されたら海上散歩**  
が、その直後から、バッテリーと当たりがとまった。釣れない時間だけが過ぎて行く。しかし、あわてるのは禁物だ。そんな時はゆつくりと海面を漕いでみる。とよい。  
しばらくゆくと、筋肉の軋みが、妙に心地よいことに気づく。どこまでも開けた海の上を、散歩かジョギングでもしているかのような格別の楽しさである。日常では決して味わえない、この広い海面を、わずか

「あーっ、バレちゃったよお!」  
地元釣具店の店主としては、あるまじき失態である。後ほど拘束し、女性陣の釣竿でヒシヒシ責め立てよう。  
「バレた!」  
艇の船べりで喚らいついたシーバスを合わせきれなかつたらしい。無念のバラシである。カヤックからシーバスを狙っていると、よくある現象だ。水面がツねに手もと近くにあるため、最後の最後まで気が抜けないのだ。追いかけてくる獲物が目前に迫るのはいつものことだが、まだ陽が高くなく、濁りもあつたため、よく見えなかつたのであろう。気を取り直し、風に流されつつ、波間に漂いながら、キャストを繰り返す。  
しばらくして、今度は中世氏が叫んだ。  
「あーっ、バレちゃったよお!」  
地元釣具店の店主としては、あるまじき失態である。後ほど拘束し、女性陣の釣竿でヒシヒシ責め立てよう。

**いきなりヒット。富津の底力を垣間見る**  
準備を滞りなく済ませ、いよいよ海に漕ぎ出す。まあぼろは軽量艇のフエックス、ぼによちゃんはフィールフリーの二人艇に私と乗艇。中世氏は足漕ぎのホビー艇だ。  
まあぼろはバドルを漕ぎすることに、笑顔が増していく。朝日に輝めく海面。カヤックに驚くヘイトが海面を跳ねる。イワシだろうつか。おつかなびつくりだったぼによちゃんも、楽しそうに歓声をあげ始めた。  
「工作は上々だな」  
私は自信を深めた。さあ、実釣だ。と、思うなり、突然まあぼろが歓声を上げた。  
「バレた!」  
艇の船べりで喚らいついたシーバスを合わせきれなかつたらしい。無念のバラシである。カヤックからシーバスを狙っていると、よくある現象だ。水面がツねに手もと近くにあるため、最後の最後まで気が抜けないのだ。追いかけてくる獲物が目前に迫るのはいつものことだが、まだ陽が高くなく、濁りもあつたため、よく見えなかつたのであろう。気を取り直し、風に流されつつ、波間に漂いながら、キャストを繰り返す。  
しばらくして、今度は中世氏が叫んだ。  
「あーっ、バレちゃったよお!」  
地元釣具店の店主としては、あるまじき失態である。後ほど拘束し、女性陣の釣竿でヒシヒシ責め立てよう。

**オデコに備え、周到に準備していた!**  
さてダッチオーブンの時間である。獲物がないのになぜ?  
：なぜか手もとに二羽の鶏がある。捨てるわけにもいかないので、丸ごとクレイジーソルトを振り掛けて蒸し焼きにすることにした。できあがるまでの間、ノンアルコールビールで乾杯し、マツタリとした時間を過ごす。やがて芳ばしい香りが周囲を満たしはじめた。ほどなく蒸し焼きの完成だ。  
引き裂き、取り分け、かぶりつく。  
旨い。  
一羽680円のブラジル産にふさわしからぬ異常なまでの旨さ香りよさである。  
今後この企画が続く限り、ダッチオーブンはマストである事実を相互に確認し、初回の工作は大成のうちに幕を閉じたのであった。  
オデコ?オデコではない。  
誰かが無意識のうちに釣り上げたのだ、一羽。

**オデコに備え、周到に準備していた!**  
さてダッチオーブンの時間である。獲物がないのになぜ?  
：なぜか手もとに二羽の鶏がある。捨てるわけにもいかないので、丸ごとクレイジーソルトを振り掛けて蒸し焼きにすることにした。できあがるまでの間、ノンアルコールビールで乾杯し、マツタリとした時間を過ごす。やがて芳ばしい香りが周囲を満たしはじめた。ほどなく蒸し焼きの完成だ。  
引き裂き、取り分け、かぶりつく。  
旨い。  
一羽680円のブラジル産にふさわしからぬ異常なまでの旨さ香りよさである。  
今後この企画が続く限り、ダッチオーブンはマストである事実を相互に確認し、初回の工作は大成のうちに幕を閉じたのであった。  
オデコ?オデコではない。  
誰かが無意識のうちに釣り上げたのだ、一羽。

三艇だけで独占しているのだ。この開放感はどうだ。ほかの何と比べることができよう。満員電車にすし詰めにされ、仕事に向かう人々には、じつに申し訳ない気持ちでいっぱいである。  
が、今度は風が出始める。中世氏とも相談し、早いが終了とする。ぼによちゃんにはいまだアタリさえないので、復路は私が一人で漕ぎ、ぼによちゃんには釣りをしてもらった。  
と、何投目だったかルアーをピックアップしたせつないきなり水面が割れた!  
どうやら、魚が追いかけてきていたようだ。惜しい。悔しい。しかし、この後は何も起こらない。三艇は後ろ髪を引かれながら、やむなく無念の着岸。

**Shop DATA**  
FUN  
〒292-0834  
千葉県木更津市潮見5-1-30  
Tel: 0438-38-3188  
水曜定休日  
平日11:00-20:00  
日・祝日13:00-19:00





いよいよ  
出発だー!!

Day 1  
富津停滞

**企画倒れか?**  
富津に到着する頃、待っていたように小雨が降り出した。やむなく雨のなか、ステーションワゴンいっぱい荷物を降ろす。七月下旬というのに、すごく寒い。レインジャケットを着用。何はともあれカヤックを組んでいく。今回の使用艇はフジタカヌーのアルピナII 430である。ファルトボートと呼ばれる組み立て式カヤックだ。折りたたんで専用バッグに入れると人が背負って持ち運び可能なサイズになる。ファルトボートを使って海外遠征に出かけたこともあるが、キャンプ道具一式を合わせても荷物の超過料金を取られたことはない。さて、何を隠そう、僕はフジタのカヤックにこれまで乗り込んだ経験がない。ゆえに、少々組むのに手こずる。さらに、完成したところへ折りたたみ式自転車を積載しようとするが、コレがまた艇に入らうとしない。(困った。これが入らないことには企画が成立しない) それにしてもおかしい。余裕はなかったものの、事前に陸でチェックした際には、確かに問題なく積み込むことができたのだ。



どうやら原因は、工具ケースを流用した手製の振り分けバッグにあるらしい。バッグの位置をあれこれ変えながら、くり返し試みるも、一時間が経過してなお納まらない。いい加減イライラしてくる。やむなく振り分けバッグを自転車荷台用のゴム紐で固定し、ようやく積み込むことができた。

**テントを決めて横になる**

これで当面の企画倒れこそなくなったものの、はやくも昼近くになっていく。今から出発しても、キャンプ地まではたどりつけまい。天候もよろしくならず、本日は富津に停滞することにした。

砂浜にテントを決める。使用テントはバイネのゴアライト、Aフレームのシングルウォールだ。シングルウォールは結露を嫌う人も多いが、フライを張る手間を省く惜しむ僕は、このスタイルがお気に入りなのだ。テントを張って荷物を折り込んだら、そそくさと潜り込み、ごろりと横になる。さっそく昼寝の時間だ。いつも長期の旅には、確実に面白いと見込んだ読み物を何冊か持っていたのだが、今回は停滞がほとんどないと踏んでいたのが、一冊の持ちあわせもない。やむなし、というわけで、ひたすら寝て過ごす。折り目を醒ましては、食糧のナッツ類やジャッキーなどを口に放り込む。波打ち際はすぐ近くだ。眠気はすぐにやってくる。

と、深夜、爆音で目覚めた。どうやら暴走族が浜辺を走り回ってらるらしい。砂浜にタイヤを取られる風でもなく駆け回っているようだ。その腕に感心こそするものの、うるさいことには変わりはない。しばらく起きて過ごすうち、彼らはどこかへ行ってしまった。睡眠。

本日の移動距離  
0km



Day 2  
富津北岸 → 富浦

**アイルランド女、登場。**

早朝、というには遅い時間に出発。旅暮らし初日の朝。いよいよ風まかせ、潮まかせの旅がはじまるのだ。

富津岬は潮流が速かった。初めてぐるりを回ったが、かなりの勢いである。まるで川だ。さいわい潮は南に流れていたため、問題はなし。ところが、ほどなく富津の南岸で、シートがおかしいことに気づいた。なぜか体と艇が左に傾くのだ。腰から上を常に右に傾けていないとバランスがとれない。どうにかこうにか行くうち、原因がシート位置にあるらしいことに気がついた。さっそく上陸してシート位置の修正。これで少しは楽になったかと思ったら、今度は突然、艇がジャジャ馬化して、こちらのいうことをきかなくなつた。まったくと言っていいほど真っ直ぐに進まない。パウ(船首)がどちらかに振れ、とにかく安定しないのだ。

左右の漕ぎのバランスが悪いと直ぐにどちらかにパウが振れ、一度、振れ始めると、それを修正するのが容易でない。まるで、アイルランド女だ。つねに細心のケアと誠意をもって付き合っただけで、手酷いしっぺ返しを食らわしてやる。

さあ、困ったぞ。僕は漕ぎ進みながら心の中で腕組みした。長距離コースタルツーリングに、この艇は向いていない。少なくとも、初めての乗艇で長距離を漕ぐのは、かなりキツイかもしれない。が、すぐに考えるのをあきらめた。ま、いっか。一日漕げば慣れるだろ。

今日の寝床を  
確保して...



とは言え、僕が常にジグザグに漕ぐので、カメラのS氏が常に先行する形となる。同じ艇を使っているのだが、アイルランド女の扱いは、彼の方が慣れている。いいかげん、彼女の執拗な仕打ちにウンザリした僕は、真面目に漕ぐ気が失せてしまった。これでは差がつく一方である。始終、S氏に僕が追いつくのを待たせてもらう。



**僕の死体は他の生物にあけてくれ**

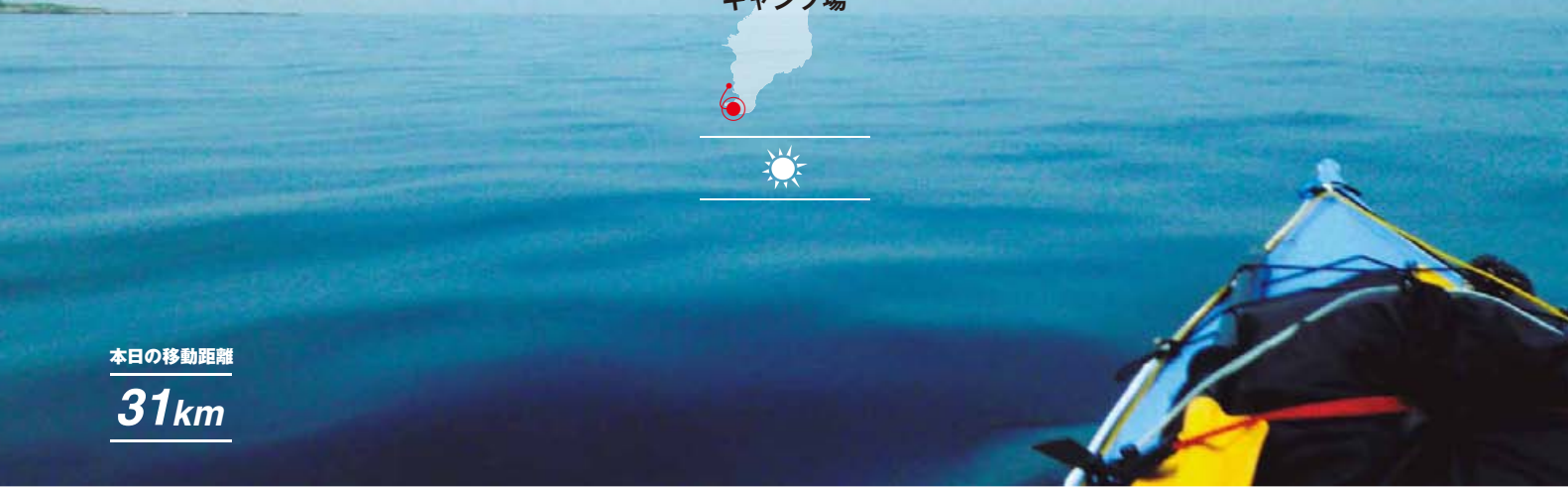
保田沖で、鯨か海豚の子供と思しき死体が浮いていた。内房には何度も来ていたのだが、間近に見たのは初めてだ。僕は車に轢かれて死んだ路傍の猫をよく埋めてやるのだが、海上ではどうしようもない。また、彼らは海で生まれたのだから、陸ではなく、海に環るべきなのだ。きっと。もし僕が死んだら、死体は鳥葬か風葬にしてみたい、というのが、じつところ本音だ。猛火に焼かれて灰となり、陶器の壺に納められ、石の墓に安置されるといのが、なんだか納得できない。僕は、これまで他の命を犠牲にして生きてきた。だから、僕が死んだ日には、せめて僕の体分くらい、他の命のために入れてやりたいのだ。



Day 3



本日の移動距離  
**31km**



追風追波練習の勢いで  
ソルティーズへ

勝山あたりで風雨が強くなる。ちょうど追風追波練習にもってこいの風力と浪高だ。僕はどちらかといえば追風追波が苦手だ。これを機会に、練習のつもりで真面目に漕いでみた。しばらく追風追波に乗って調子良く続けていたら、何時の間にか同行のS氏を大きくひきはなしていた。南無谷のソルティーズ前に着岸するころには雨もすっかり上がりきり、風もおさまってしだいに暑くなり始めていた。ソルティーズ代表の山本さんは、あいにく留守だった。が、車はある。どうやらツアーであったりの海に出ているらしい。帰りを待つ間、近くの商店でぶらり買い物をする。久しぶりに、いや、じつに久しぶりにガリガリ君などを購入、さっそく齧ってみる。非常に美味かった。海岸でジュースを飲みつつ、ひとやすみ。

やがて大房岬方面に、小さく移動する点が五つほどあらわれた。ゆつくりと、少しずつ大きくなってくる影は、やはりソルティーズのツアー艇である。僕は、いつものように着岸のサボーターや、艇を運搬する手伝いをする。山本さんにご挨拶、一通り今回の旅の状況などを報告した。ごく短い間ながら、充実した南無谷での時間を過ごし、当日の宿泊地となる隣の浜のキャンプ場に向けて再出艇。

釣れないまま北浜キャンプ場へ

隣の浜までは、漕がず、風に流されながらの釣りで向かうことにした。S氏はマルキューのハワイソメ、僕は鉄板のガルブである。仕掛けは二人ともキスである。しかし、S氏には頻繁にアタリがあるものの、僕にはあまりない。ガルブで釣り負けるとは、信じられない思いである。

崖観音から館山湾を突っ切り  
ケープ・洲ナーに

早朝、出発。大房岬の雄大な風景を左手に見ながらパドルをゆるゆると動かす。今日は距離を漕がなくていいので、崖観音に立ち寄り、手を合わせる。那古船形の絶壁に穿たれた観音様だ。上空が抜けるように青い。

急な階段を数え切れないほどに踏みしめ、何とか辿り着いた楼閣は、館山湾を一望のもとに見晴るかす、まさに格別の絶景だった。夜に望めば、さぞや夜景が美しいだろう。航海の安全を念入りにお祈りしておく。

さて、一心に手を合わせた後は館山湾の横断である。霧のなか、洲崎に向けて一直線に漕いでいく。それにしても風がない。鏡面のように風が吹く。鏡ヶ浦の別名通りだ。遠く大房岬がはるか彼方に霞んでいる。空気が動いていないのだろう。洲崎の手前で早川丸という遊漁船に声をかけられた。これ以上進むと潮が速いからとどれなくなるぞ、と注意してくれた。お心遣いに感謝。もつとも、こちらは洲崎を周らないと先へは進めない。ていねいに謝しつつ、手を振って先を急ぐ。

洲崎は想像以上の潮流であった。速い。どうも富津を超えているようで、潮というより、ほとんど大河だ。が、富津の時と同様、潮が南に流れているので、問題なくやり過ごせた。下げ潮だから良かったのだろうか、この速度で満ち潮



本日の移動距離  
**44km**

Shop DATA

Saltys paddle sport  
〒299-2401  
千葉県南房総市富浦町南無谷6-1  
Tel : 0470-20-4131  
Fax : 0470-33-3132

そしてS氏に強烈なアタリ！が、糸を切られてしまふ。引きからしてカワハギだったかも知れないとは本人の弁。

「釣師と話をする時は両手を縛ってからにしろ」露西亜の諺。

キャンプ場に着くなり、すぐに山本さんから電話がかかってくる。なんでも差し入れを持ってきてくれるという。やがてビールを抱えた山本さん登場！

あさーす！ あさーす！ あさーす！

明日、超えていくことになっている洲崎の潮目や、千倉周辺のブーマー（隠れ岩帯について、注意をいただく。感謝感謝である。キャンプ場は人が少なく、設備も整っていて、じつにいいところだった。

ただし、風呂や温水シャワーがないため、 TENTを張ってから日帰り温泉を探しに出るが、どこまでほつき歩いても見当たらない。困り果てたところ、一軒の民宿を見つけた。

が、入浴についての情報が何ひとつ見当たらない上に、時刻もすでに夜の8時をまわっている。少し考えたが、やはり風呂には入りたかったため、ダメモトで交渉してみた。対応してくれた人は、今日はそもそも休みなんですよね、日帰り入浴もしてないんですけど、と言いなながら、言葉とは裏腹に、快く利用させてくれた。ただし休みのため、風呂には入れない。ものの、温水シャワーが二百円で時間無制限。生き返る。日中の汗と雨でスルスルになった体に、暖かいシャワーがなんとも心地よい。

支払いは五百円玉ひとつきり、残りはチップ代りとした。



海が  
似合うだろ~



美しすぎるキャンプ場から  
ジャングル風呂へ

今日のキャンプ場は白浜海岸にある根本海水浴場だ。エメラルドグリーンの海水が、南の島で見られるような乳白色の砂に打ち寄せる、格別のキャンプ場である。少し波が高めなため、軽く波乗りして着岸。そのまま管理事務所へ手続きに行く。富津から来たのだ、という、事務所に詰めていたおじさん達が大きく驚いて、しばらく質問攻めにされた。

宿営地のそばに日帰り温泉がある。ジャングルパレスというホテルだ。体をほぐす目的で出かけたのだが、日中の陽に焼かれ過ぎていたせいか、温泉に入ってもヒリヒリと痛いばかりでちつとも体がほぐれない。

ただ、汗と潮でベタベタになった体を洗うと、一皮剥けた気がした。帰りにカキ氷を食べると、やがて南の島の陽が暮れた。



ウミガメ  
です。



ガルブで  
勝負!!

Day 4

根本キャンプ場

鴨川



本日の移動距離

40km



と思っ  
江見吉浦、江見太夫崎まで来ると、それまでウネリに終始していた海面が、急に荒れ出した。陸上の地形から想像する限り、海底の起伏がよほど激しいらしい。煮え立つ鍋の表面を漕ぎ進む月桂樹のように、艇が上下左右へと突き上げられる。これではロデオだ。フアルトでなければ、僕の腕では危なかつたかもしれない。ロデオから解放されると、仁右衛門島が見えてきた。千葉県で唯一の有人島だ。とはいっても、本土との距離は、楽に泳ぎ渡れてしまつてほどではない。日ごろは手漕ぎ舟が渡しをしている。今度、カヤックで渡らせてもらおう。仁右衛門島の海峡を抜けると、いよいよ鴨川である。やつとここまで来た。感慨。あと一日で今回の海旅は終了である。ところが、海岸に近づくや、感傷に浸っている余裕など一切ないことに気付かされた。鴨川は荒れていた。風波の向きが、海岸の向きとまるで同じなのだ。外洋むき出しのハワフルな波が、何の緩衝物もなくドツハンドツパンと打ちつけている。しばらく思索したもの、他に上陸地点があるでなし。突貫！

案の定、波に乗ってしまい、ブローチングで耐えて着岸、降りようとした瞬間に一番、テカい波を喰らって胸から下がすぶ濡れになる。S氏などは船首部分が海岸に刺さりかけながら横倒しになってしまう。これには僕も肝を冷やした。



イルカの親子!?

ワンドフル鴨川、恐るべし  
鴨川では、Y氏と車で待ち合わせをしていた。東京からわざわざ差し入れを持ってきてくれたのだ。無事の再会を喜びあつた後、三人で鴨川駅前のアウトドアショップ・ZENさんへ遊びにいった。店主の薛さんと、これまでの旅程や、鴨川周辺の海の話で盛り上がりつつ、大いに交歓。海の話は楽しい。

夕刻は、薛さんに教えていただいた通り、かんほの宿の温泉を目指す。途中、うなぎ釣りにきていた地元の人と話し込む。旅先での僕の楽しみといえば、おじさんやおばさんと立ち話をすること。もつとも率直なたちで、その土地のいいところを見せてくれるのだ。

温泉からの帰り道、犬を散歩させる小学生と思しき女の子が挨拶してきたので、こちらにもこやかに挨拶を返すと、なぜか投げキッスされた。鴨川、恐るべし。



野生イルカとブーマーに戯れ、ロデオの末に鴨川激上陸!  
早朝、出艇。カメラのS氏が緊張しているのが分かる。波が少々高いのだ。こつした緊張はすぐ伝染するもので、いつしか僕まで固くなつてしまった。さいわいにも、何ともなく二人とも無事に離岸することができた。

はじめ、朝日に向かって漕ぐ。やけに眩しい。しばらく行くと野島崎の灯台が迫ってくる。千葉県最南端の地である。さらに進むと乙浜だ。ここは日ごろ、アオリイカ釣りで訪れるところだ。と、水面が二、三カ所、黒く盛り上がった。イルカだ!

S氏に振り返って叫ぶやいなや、僕は一直線に彼らに向かって漕いでいった。彼らは明らかにこちらに興味がある様子で、僕に向かって泳いで来たり、飛びあがってこちらを確認したりしていたが、五分ほどを共に過ごす興味を失ったのか、どこかに潜り去ってしまった。

乙浜からは、やけにブーマーが多くなる。突然、海面が割れる。まるで地雷原を行くかのように緊張する。しかし、前方をしっかりと見てさえいれば、まず引つかかることはない。うっかり気を抜かないことが肝心なのだ。

それにしても美しい風景が続く。この水の色はどうだ。高速道路を使えば都心から二時間足らずでこれだけの風景に出会えるのだ。いいところだよな、千葉って。

千倉でブーマー帯に別れを告げ、鴨川へ向けて青蓮航路を取る。自然、沖出して漕をショートカットしていくことになる。千倉から望む鴨川方面は霧に霞んでいた。大海原、ひとりポツンと小舟で浮くこの孤独感、不安感。陸上では決して味わえない感覚だ。孤独を不安と捉える人には耐えられないのかも知れないが、僕は孤独を自由と捉える性質だ。自由を何より愛する僕は、孤独だつて捨てたものではない。

Shop DATA  
アウトドアショップZEN  
〒296-0001  
千葉県鴨川市横渚1114 ZENビル  
Tel: 04-7092-0478  
info@zenjp.com



# ザ・冒険ジャーナル

## The Adventure Journal

### 究極!?

### アドベンチャー・レース入門

■「アドベンチャー」のゆえんとは？

競技の内容は、自然(山、海、川など)の中を、地図を読み、トレッキング、マウンテンバイク(MTB)、カヤック、ラフティング、ロープワーク、懸垂下降などを駆使しながら、チームが一丸となってゴールを目指す、といった、極めてアドベンチャーなメンタルなものの、何といてもミノは、スタートの前日に地図を渡され、コースの全貌を初めて知るといふ点。毎回、種目もレース内容も変わります。競技時間は昼夜問わず1週間〜10日間。事前情報が少ないため、準備や入選による優位性が限定されるをえす、その場その場での総合判断がレースの結果を大きく左右することになります。この要素が「アドベンチャー」の名を冠するゆえんです。ハードな内容ながら、最終アタマを使って切り抜けていかなければならない、まさに「毎日冒険」なわけですね。

通常、1チーム男女混合4人程度で行います。チームは、全行程において必ず行動を共にし

■「アドベンチャー」のゆえんとは？

競技の内容は、自然(山、海、川など)の中を、地図を読み、トレッキング、マウンテンバイク(MTB)、カヤック、ラフティング、ロープワーク、懸垂下降などを駆使しながら、チームが一丸となってゴールを目指す、といった、極めてアドベンチャーなメンタルなものの、何といてもミノは、スタートの前日に地図を渡され、コースの全貌を初めて知るといふ点。毎回、種目もレース内容も変わります。競技時間は昼夜問わず1週間〜10日間。事前情報が少ないため、準備や入選による優位性が限定されるをえす、その場その場での総合判断がレースの結果を大きく左右することになります。この要素が「アドベンチャー」の名を冠するゆえんです。ハードな内容ながら、最終アタマを使って切り抜けていかなければならない、まさに「毎日冒険」なわけですね。

通常、1チーム男女混合4人程度で行います。チームは、全行程において必ず行動を共にし



Profile 砂田 芳子(すなだ よしこ)

通称、ナディ。アドベンチャーレーサー。アドベンチャー・レース(AR)の存在を知り、生活が一転。AR中心になり、スポンサー活動をしながら、レース活動。トレーニングのために、各種目、トレラン、MTB、カヤック等のレースにも出場。現在、団体カヤックワイルドウォーター千葉県代表選手。ARに大切なチームビルディングを学び、ファシリテーター、カヤックガイド、アウトドアインストラクター等としても活動。

■「アドベンチャー」のゆえんとは？

競技の内容は、自然(山、海、川など)の中を、地図を読み、トレッキング、マウンテンバイク(MTB)、カヤック、ラフティング、ロープワーク、懸垂下降などを駆使しながら、チームが一丸となってゴールを目指す、といった、極めてアドベンチャーなメンタルなものの、何といてもミノは、スタートの前日に地図を渡され、コースの全貌を初めて知るといふ点。毎回、種目もレース内容も変わります。競技時間は昼夜問わず1週間〜10日間。事前情報が少ないため、準備や入選による優位性が限定されるをえす、その場その場での総合判断がレースの結果を大きく左右することになります。この要素が「アドベンチャー」の名を冠するゆえんです。ハードな内容ながら、最終アタマを使って切り抜けていかなければならない、まさに「毎日冒険」なわけですね。

通常、1チーム男女混合4人程度で行います。チームは、全行程において必ず行動を共にし

■「アドベンチャー」のゆえんとは？

競技の内容は、自然(山、海、川など)の中を、地図を読み、トレッキング、マウンテンバイク(MTB)、カヤック、ラフティング、ロープワーク、懸垂下降などを駆使しながら、チームが一丸となってゴールを目指す、といった、極めてアドベンチャーなメンタルなものの、何といてもミノは、スタートの前日に地図を渡され、コースの全貌を初めて知るといふ点。毎回、種目もレース内容も変わります。競技時間は昼夜問わず1週間〜10日間。事前情報が少ないため、準備や入選による優位性が限定されるをえす、その場その場での総合判断がレースの結果を大きく左右することになります。この要素が「アドベンチャー」の名を冠するゆえんです。ハードな内容ながら、最終アタマを使って切り抜けていかなければならない、まさに「毎日冒険」なわけですね。

通常、1チーム男女混合4人程度で行います。チームは、全行程において必ず行動を共にし

■「アドベンチャー」のゆえんとは？

競技の内容は、自然(山、海、川など)の中を、地図を読み、トレッキング、マウンテンバイク(MTB)、カヤック、ラフティング、ロープワーク、懸垂下降などを駆使しながら、チームが一丸となってゴールを目指す、といった、極めてアドベンチャーなメンタルなものの、何といてもミノは、スタートの前日に地図を渡され、コースの全貌を初めて知るといふ点。毎回、種目もレース内容も変わります。競技時間は昼夜問わず1週間〜10日間。事前情報が少ないため、準備や入選による優位性が限定されるをえす、その場その場での総合判断がレースの結果を大きく左右することになります。この要素が「アドベンチャー」の名を冠するゆえんです。ハードな内容ながら、最終アタマを使って切り抜けていかなければならない、まさに「毎日冒険」なわけですね。

通常、1チーム男女混合4人程度で行います。チームは、全行程において必ず行動を共にし

## 海ちゃん海をゆく! チャリ・カヤでゆく海岸線の旅

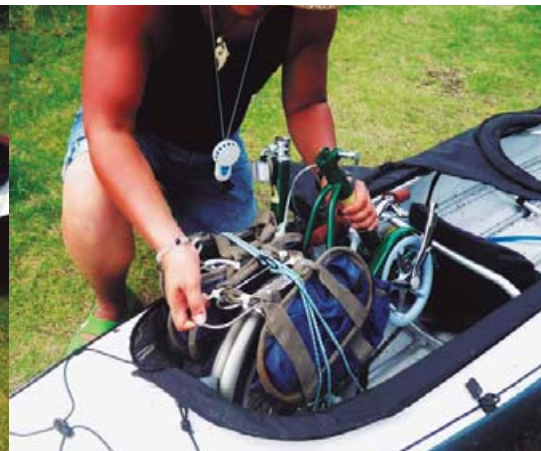
最終日の今日は、ついに自転車での陸走に決定、早朝の起き抜けからテントやカヤックの類を畳み、荷物の整理をしていると、どこからともなく色んな人がやって来ては話し込んでいく。むかしヨットマンだったというおじさんは、カヤックに興味があるといい、艇の構造についてしきりと話した。全身黒づくめの異装で、公園の広い砂浜を熱心にボランティア清掃するチャーミングなおばさん。隠居目的で東京から移り住み、いつの間にか鴨川をよくする活動をしている人。

一人ひとりが、いちいち魅力的な人たちだった。こんなにおもしろい人が集まるおもしろい街もめったにない。何より海が多様で自然がうつくしい。すっかり鴨川に住んでみたい町になってしまった。

いざ出発! ベダル踏む足も軽やかに、と行きたいところだが、じつは自転車があまり得意でない。えっちらおっちら、ヨロヨロと進む。アスファルトの照り返しが泣きたいくらいに熱い。つねにそよ風吹く海に比べ、しばしば風が止まる。アップダウンの多い車道では、恐ろしいダンパーが唸りをあげ、砂ぼこりを巻き上げてしまった。

Day 5

鴨川 → 御宿



今日はチャリだよ~

けながら猛スピードで通り過ぎてゆく。蝉の音が暑苦しさに拍車をかける。海が恋しい。勝浦を過ぎてさらに行くに誕生寺に到着。日蓮上人ゆかりの寺だ。ぐるりと見物、おみくじを引く。当然だ。ここはやはり大凶か大吉を引かなくてはならないところだが、小吉、などと、なんともおもしろくもおかしくない結果に。さらに頑張るベダルを踏みしめるもの、御宿は月の砂漠でタイムアップ、打ち止めとなる。砂漠を越えられるのはラクダだけ、ということがよく分かったゴールだった。

本日の移動距離 30km



また会おうね~

この旅の全てが終わった。

やむなく再会を約し、

親切に愛らしいのなんの。

員さんがいたため、薦められるままに品物を購入。この店員さんがまた

るを、一刻も早く救い出したい。要するに痛かった。ほうほうの体た

ずね歩いたところ、やけに詳しい店

員さんがいたため、薦められるまま

に品物を購入。この店員さんがまた

るを、一刻も早く救い出したい。要

するに痛かった。ほうほうの体た

ずね歩いたところ、やけに詳しい店

員さんがいたため、薦められるまま

に品物を購入。この店員さんがまた

るを、一刻も早く救い出したい。要

するに痛かった。ほうほうの体た

ずね歩いたところ、やけに詳しい店

員さんがいたため、薦められるまま

## Chari Kayak チャリ・カヤ エピローグ

# 立ち足はかかる難関を前に

試される思いと覚悟。

浪-江戸500杯、志朗々なれども浪高し。

## NPO法人設立。

TEAM 浪-江戸の信念の発露を、社会貢献につなげていく目的で、過ぐる2012年6月11日、私たちは正式にNPO法人の認可を取得、今後は「NPO法人 浪-江戸」として、活動を展開していくことになった。ひとまず、胸をなで下ろす。が、どうやら、これがいいなかったらしい。

## 海岸線から日本を元気にする。

この思いだけで船出した浪-江戸500杯。

この無謀とも思しき計画の実行にあたって、さまざまな障害が、私たちの目の前に立ち足はだかっている。まさにメインビジュアルにある北斎の絵の通りだ。私たちは、浪-江戸500杯を単なるマリンスポーツのイベントとして開催するつもりはない。万里の波濤と海岸線だけが有する、他の何物にも代えがたい父性と伝統世界を津々浦々に及ぼし、その教育的効果を子々孫々に伝えていきたいと祈念しているのだ。が、当面は開催資金と関係自治体の許認可、大型船航路を跨ぐ際の複雑な調整、安全対策のプロトコル策定等々の難題のクリアが先決だ。一度大がかりなイベントともなると、これらの一つひとつが、まったく私たちの想像を超える困難の連続となっていくのである。船頭は何人かいるもの、それぞれが日々多忙を極め、一方の水主はわずかしかおらず、やむなく多忙の船頭が持ち回りで水主を兼ねる。そんな状況から抜け出せないでいるのが、私たちの悲痛な、しかし率直な現状なのだ。もし、私たちの無謀な挑戦を見、少しでも手を貸してやろうと思う方がいたら、ぜひ私たちの活動に参加して欲しい。わずかでもいい、みずから行動する人として、あるいは支援する人として、参加したいの思いがある人は、ぜひお声がけいただければ、さいわいである。

## 超大物プロデューサー参加。

しかし、向かい風もあれば、追風もある。まず代表が思いつきで始めた「チャリ・カヤ」が、その有用性はともかく、もの珍しさと話題性、TEAM 浪-江戸のユニークな冒険家のキャラがさいわいし、二度もメディア上で紹介されるなど、いきなり世間の目に触れることとなった。次に、浪-江戸として、初の講習会を東京某所で開催、思いも寄らぬ盛況の内に幕を閉じ、未来への希望に胸をふくらませている。また、ついに本誌 Coast Paddlers 創刊号の発刊に漕ぎつけた(何日が遅れてしまったけど...)。拙いながら、夢であった海岸線ツーリングを誌面に出来、これも新たな可能性を予感させてくれている。そして最後、これまでに2010年の上海万博、愛知で開催された愛地球博等々、数々のビッグイベントを手がけてきた超大物プロデューサーのお二方が、私たちの訴えに共鳴、なんと浪-江戸500杯にプロデューサーとして参画いただける事になった。新たな同志の登場を天に感謝するとともに、その他にも、様々な方面から、志ある人々が、少しずつ参加の狼煙を上げ始めてくれている。こんなにうれしいことはない...

## 浪は高いほど越え甲斐がある！

実現に向け、難題は今なお山積だが、多くの方々の支援をチャカラに、この目の前の巨大波頭を乗り越えてやる！と、ばかりにただいま奮闘中。浪-江戸500杯に幸いあれ！

浪-江戸500杯とは、NPO法人 浪-江戸が2013年に開催を目論む、江戸時代に盛んだった新酒番船レースを模した「シー・カヤックによる海のバリダカ」を標榜するレースです。

## NPO法人 浪-江戸 会員募集！

浪-江戸の理念、活動趣旨にご賛同いただける方々を広く求めています。



**正会員 (個人・団体)**  
活動に直接携わりご協力いただける方  
入会費 10,000円 年会費 12,000円

**賛助会員 (個人・団体)**  
活動の趣旨に賛同し側面から応援をいただける方  
入会費 3,000円 年会費 1,000円 [1口以上]

本マガジンの媒体資料、NPO法人 浪-江戸、浪-江戸500杯に関する最新情報・お問い合わせはホームページへアクセス！

**www.nami-edo.jp**

彫刻家 向山伯制作のケーススタディ。EXPO'90国際花と緑の博覧会、扇町公園、淡路花博(奇跡の星の植物館)、静岡花博等々、数々の出展歴を誇るTEAM 浪-江戸のメンバー・向山伯も、何を隠そう、ご自身が元パドラー。彫刻に浮かぶ躍動感あふれる曲線に、パドルを握る者のみが知る海の生命感が漲っている。

シー・カヤックで挑む新酒番船

# NAMI-EDO 500 CUP

浪-江戸500杯



## 編集者X・海暮らしの手帳

本誌編集者のXです。「海ちゃん海をゆく」シリーズの海ちゃんこと海谷一郎氏に同行取材しているカメラマン/ライターです。ページ数の関係で、編集後記も兼ねます。主に海岸線取材する中で気付いたちょっとしたこと、こぼれ話、読者のみなさまから頂戴したメッセージ等々を紹介して行く場にてできればと考えています。どうぞ、よろしくお願いたします。

さて、今回の取材旅行では、テーマをひとつ設定しました。それは「ゆる〜く炭水化物カット」。と、いって、ダイエット法というわけではありません。なにせ高カロリーのナッツ類やタンパク質を主食にする試みですから、それそのものにダイエット効果はありません。では何なのか。ひとつには、旅を楽しむために、できるだけバックキングを身軽&手軽にするという趣旨。もうひとつには、サバイバル術の一環として、脂肪分を効率的に燃焼する体質を創って行く、という目論見です。

ご存じの通り、脂肪は炭水化物に比べ、燃焼効率が良いというメリットがある一方、短時間の運動では、うまく燃焼しづらい、というデメリットが

## 早い話が 脂肪燃焼体質を 創るということ

あります。ごく短い時間の中で肉体を酷使する通常のスポーツにおいては、このデメリットがポトルネックとなるため、脂肪は敬遠されがちなのですが、たとえばマラソンやトライアスロン等、長時間にわたってエネルギーを消費する消費する競技ではどうでしょうか？

じつは、持久力を競うアスリートの多くが、主に脂肪を効率的に消費することで、競技に必要なエネルギーを獲得していたのです。なるほど、長距離ランナーが痩せているわけでは？

では肝心のコースト・ツーリングは？

簡単ですね。典型的な脂肪燃焼型スポーツ、ということになります。どうしてこんなことを書いているのかというと、何を隠そうこの編集者X、パドルを握るようになる前は、体重90kg近いすぐりマツチヨだったのです。これが、シー・カヤックをはじめわずか1年で、30kg以上の体重減、だけでなく、体脂肪率6%の痩せマツチヨになりました。こうなってくると、誰でも実感しますよね。「このスポーツの脂肪燃焼力は普通じゃない」

もう一点、高脂肪食をはじめ私が気付いたのは、やけに疲れづらくなった、ということです。炭水化物を日ごろから摂取していると、食事毎に眠気に襲われたり、イライラしたり、欠乏時に腹が減ったり頭痛に襲われたりと、体調管理がやたら大変だったのですが、脂肪燃焼体質になると、不思議なほどに腹が減らなくなるのです。その間、身体からほとんど脂肪を燃焼していきま。脂肪がなくなると初めて、じんわりと腹が減ります。しかしこれも、食べないと行かない、といった切迫感がありません。腹が減ってきたな、と思えば、静かにクルミを食べ、マンゴーをかじります。その後は夜までエネルギーが足りません。

「これほどサバイバルに適した燃焼体系もないな」大いに感心した次第です。踏ん張りドコロでは携帯しているクラッカーやスニッカーズをひとつかじります。これが不思議なことに、何ヶ月ぶりの炭水化物でも、ちゃんとチカラが出ます。

今回の旅では、われらが「海ちゃん」も、そこそこクリアしたようでした。みなさんも、一度試してみられてはいかがでしょう。

「これほどサバイバルに適した燃焼体系もないな」大いに感心した次第です。踏ん張りドコロでは携帯しているクラッカーやスニッカーズをひとつかじります。これが不思議なことに、何ヶ月ぶりの炭水化物でも、ちゃんとチカラが出ます。

今回の旅では、われらが「海ちゃん」も、そこそこクリアしたようでした。みなさんも、一度試してみられてはいかがでしょう。

あります。ごく短い時間の中で肉体を酷使する通常のスポーツにおいては、このデメリットがポトルネックとなるため、脂肪は敬遠されがちなのですが、たとえばマラソンやトライアスロン等、長時間にわたってエネルギーを消費する消費する競技ではどうでしょうか？

じつは、持久力を競うアスリートの多くが、主に脂肪を効率的に消費することで、競技に必要なエネルギーを獲得していたのです。なるほど、長距離ランナーが痩せているわけでは？

では肝心のコースト・ツーリングは？

簡単ですね。典型的な脂肪燃焼型スポーツ、ということになります。どうしてこんなことを書いているのかというと、何を隠そうこの編集者X、パドルを握るようになる前は、体重90kg近いすぐりマツチヨだったのです。これが、シー・カヤックをはじめわずか1年で、30kg以上の体重減、だけでなく、体脂肪率6%の痩せマツチヨになりました。こうなってくると、誰でも実感しますよね。「このスポーツの脂肪燃焼力は普通じゃない」

もう一点、高脂肪食をはじめ私が気付いたのは、やけに疲れづらくなった、ということです。炭水化物を日ごろから摂取していると、食事毎に眠気に襲われたり、イライラしたり、欠乏時に腹が減ったり頭痛に襲われたりと、体調管理がやたら大変だったのですが、脂肪燃焼体質になると、不思議なほどに腹が減らなくなるのです。その間、身体からほとんど脂肪を燃焼していきま。脂肪がなくなると初めて、じんわりと腹が減ります。しかしこれも、食べないと行かない、といった切迫感がありません。腹が減ってきたな、と思えば、静かにクルミを食べ、マンゴーをかじります。その後は夜までエネルギーが足りません。

「これほどサバイバルに適した燃焼体系もないな」大いに感心した次第です。踏ん張りドコロでは携帯しているクラッカーやスニッカーズをひとつかじります。これが不思議なことに、何ヶ月ぶりの炭水化物でも、ちゃんとチカラが出ます。

今回の旅では、われらが「海ちゃん」も、そこそこクリアしたようでした。みなさんも、一度試してみられてはいかがでしょう。



## 炭水化物 カット食

### シロウトの手とプロの手

今回のような200km以下、5日程度の海旅なら、編集者Xのようなシロウトでも「海ちゃん」のようなプロと旅ができる。しかし、終了時の手を見て欲しい。「海ちゃんの手(右)」にはマメなどのつともなく、最後までキレイなプロニ状態だ。一方のXの手(右)はマメだのタコだの水ぶくれだのと、手の皮がガビコビ。これは無理なチカラがパドルに乗っている証拠で、500kmを超えるような長旅でこうしたパドルングを続けると、かならず局所的な疲労を招くという。大いに実感するとともに、2-3日行程の海旅越えていい気になっていた自分の未熟を痛感、ロング・ツーリングは甘くない。

### 編集部オススメ・リアルな旅のお役立ち

- ソーラー充電機能付き大容量バッテリー。5日ほどの旅程なら、再充電が不要ほどのパワフルさ。もともと、眠気で仕事の方はいまいち定められなかったのだが...
- マルチパーパス。多用途向けに旅行。初日、2日目と予想以上に冷えたが、ライフジャケットの上からこれを使うことで、見事に暖かくなった。
- 真空パックス。パジャマケースごと入ってしまおう寝るもの。防水に便利。
- 真空パックス。とにかく何を入れるにもコンパクトに防水化できるので、コースト・ツーリングでは欠かせないグッズ。真空パック中サイズにタオル6枚が入ってこの大きさで！防水もカンペキで超オススメ。
- 回転式携帯収納。こんなに強くととは思わなかった。海谷氏チョイスの正当性。帰るまで一か所も割れなかった。
- 折畳式防水トートバッグ。ちょっとした用事で街中に出るとき、かさばるものを運ぶとき、いちいち便利。ちょっとした水しぶきでは中が濡れないものを運ぶべし。
- ハミガキセット。当たり前過ぎますね。
- 流せるウェットティッシュ。ウォシュレットが使えない環境多し。用意しておくこと。8割を備え付けのトイレトペーパーで拭き取り、残り2割の仕上げでウェットティッシュを使うべし。
- きんちゃく袋。砂を入れぬアンカーにしたり、砂場のテント張りの直しにしたり、シート腐防止のパッド代わりに用いたり大活躍。

### 安房国いいとこ一度はおいで

鴨川では、かんばの塩の温度に入湯。帰路、車検屋があったため、ご乗車ノを食べない条件付きで入店。ところがこれがナッツの産地らしい、やむなく奥の車検屋へ。これが大ピンコ。まさか帰路南隣の産地、昔ながらの車検屋がこんなにはなかった。典型的な下町的な味で、ふつふつと大飯あたりでしか聞かないいただきます〜と一礼して帰路。一歩の味だ。驚くまでもありませんが「むかし常盤で旅行行ってきました」はマスターの件。Xは夫に妻が「そんなには強くて、悪いね〜」いやいやは悪くないです。著作でなければ、「上」とすると、聞かれないカウンター常連客らしい美女が「あら、じゃああたしと一緒〜」と見られるんだけど、実はもう28歳...。周囲は大爆笑。ボリュームは女性用の半分程度、あまりにおもしろいので、ぜひ一試。握らせて、と声をかけると、どぜんど〜と顔を覆ってしまった。「すみません、言い過ぎました」あたし一人のために鴨川の印象を下げるわけはいかないわっ！また大爆笑。楽しい人たちはばかりなので、名乗り出し過ぎて後者も引かれて困った。

### alpina-2ユーザー必見！これがフジタ氏対策だ！

人の尻にはさまざまなあります。出張回数100回は超えようという編集者Xの愛用・フジタ氏のalpina-2ですが、このシートに尻が合う人、合わない人がいます。そして、何となくどうでしょうか。なぜかXの尻には恐ろしく合いません。ちなみに私は、このalpinaシートに相性のいい尻を「フジタ尻」と呼んでいます。余談ながら、Xは他にフィッシング専用服としてaquaterraのspectrumとswiftyの二種を使っています。なぜかこの二種のシートはいくら乗っても尻が痛くありません。ところが、私の釣り友達は、栄えある「フジタ尻」の持ち主でありながら、これらaquaterraの二種を使うと、尻が痛いといってウンウン唸ります。痛感しますね「尻に個性あり」。というわけで、今回は非フジタ尻のための編集者X流alpinaシート対処法を以下に紹介します。

Step 1: きんちゃく袋二つに、それぞれ砂浜の砂を適量入れ、ミニ土嚢を作ります。

Step 2: 座り心地を確かめて、ミニ土嚢の位置と砂の量を調節します。

Step 3: 以上、これで非フジタ尻のあなたも、長時間の乗船でも身もたしくなりました！

alpina-2は、フジタ氏の持ち主でない、長時間のパドルングにおいて尻が痛鳴を上げはじめる。

alpinaシートの上面にも横に並べるかたちでミニ土嚢をセットします。

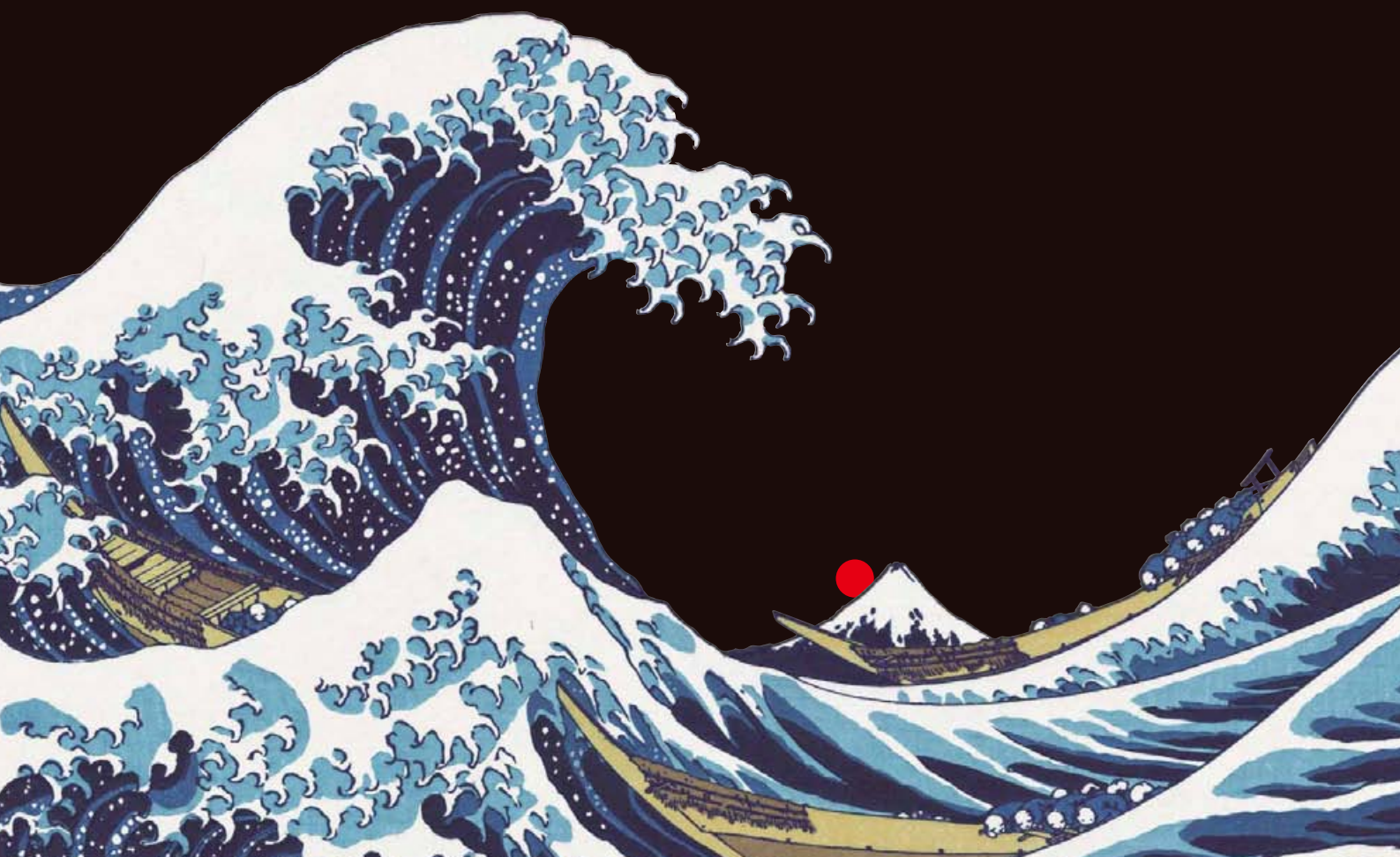
シー・カヤックで挑む新酒番船

# NAMI-EDO

# 500 CUP

浪-江戸500杯

2013年9月初酒御蔵出(予定)





海岸線から元気になる日本「海のグリーン・ツーリズム」マガジン

NPO法人 浪-江戸 Presents

# Coast Paddlers

## ◆ 特集

Go Get Him★ふいっしやれす隊!

**その1・カヤックフィツシャレスへの道**

～鉄板・富津のシーバス・レポ～

海ちゃん海をゆく!

**チャリ・カヤでゆく海岸線の旅**

～チャレンジ千葉島一周!? 房総激漕編～

ザ・冒険ジャーナル

**究極!? アドベンチャー・レース入門**

## ◆ 浪-江戸500杯レポート

人と自然を海岸線でつなぐ  
最新・海のエコ旅いざ発進!!

**FREE!**  
ご自由にお取りください

vol. 01 創刊号